

## 第5編 公 園

第1章	土工	5-1-1-1
第2章	共通工	5-2-1-1
第3章	基盤整備	5-3-1-1
第4章	植栽	5-4-1-1
第5章	施設整備	5-5-1-1

## 第1章 土工

1 機械土工(土砂) . . . . .	5-1-1-1
2 小規模土工 . . . . .	5-1-1-1
3 トラクター土工 . . . . .	5-1-1-1

## 第2章 共土工

1 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工 . . . . .	5-2-1-1
-------------------------------	---------

## 第3章 基盤整備

1 舗装版取壊し(人力) . . . . .	5-3-1-1
2 擁壁工	
1 コンクリートブロック(空洞ブロック積) . . . . .	5-3-2-1
2 小型石積工 . . . . .	5-3-2-1
2-1 小型石積工 . . . . .	5-3-2-1
2-2 れんが積工 . . . . .	5-3-3-1

## 第4章 植栽

1 公園植栽工 . . . . .	5-4-1-1
2 公園移植工 . . . . .	5-4-2-1
3 樹木保全工 . . . . .	5-4-3-1
4 環境保全工 . . . . .	5-4-4-1

## 第5章 施設整備

1 給水設備工 . . . . .	5-5-1-1
2 雨水排水設備工 . . . . .	5-5-2-1
2-1 排水構造物工 . . . . .	5-5-2-1
2-2 管渠工 . . . . .	5-5-2-2
2-3 マンホール工 . . . . .	5-5-2-2
3 汚水排水設備工 . . . . .	5-5-3-1
4 園路広場整備工 . . . . .	5-5-4-1
4-1 路盤工 . . . . .	5-5-4-1
4-2 土系舗装工 . . . . .	5-5-4-1
4-3 石材系舗装工 . . . . .	5-5-4-1
4-4 レンガ・タイル系園路工 . . . . .	5-5-4-2
4-5 園路縁石工 . . . . .	5-5-4-3
5 修景施設整備工 . . . . .	5-5-5-1
6 遊戯施設整備工 . . . . .	5-5-6-1
7 サービス施設工 . . . . .	5-5-7-1
8 管理施設整備工 . . . . .	5-5-8-1
8-1 門扉工 . . . . .	5-5-8-1
8-2 柵工 . . . . .	5-5-8-2
8-3 車止め工 . . . . .	5-5-8-3
9 施設仕上げ工 . . . . .	5-5-9-1
9-1 塗装仕上げ . . . . .	5-5-9-1
9-2 加工仕上げ . . . . .	5-5-9-3
9-3 左官仕上げ . . . . .	5-5-9-4
9-4 タイル仕上げ工 . . . . .	5-5-9-6

# 第1章 土 工

## 1 機械土工（土砂）

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事においてバックホウ 0.45 m<sup>3</sup>を用いて行う機械土工に適用する。

バックホウの作業能力、単価表、機械運転単価表は、本市基準書「2-1-2-1 機械土工（土砂）」を参照。

## 2 小規模土工

本市基準書「2-1-5-1 5 小規模土工」を参照。

## 3 トラクター土工

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）1-2-1 トラクター土工」を参照。

## 第2章 共通工

### 1 基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事においてバックホウ0.45 m<sup>3</sup>を用いて無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物の基礎・裏込碎石工及び基礎・裏込栗石工に適用する。

なお、再生資材を用いる場合にも適用する。

#### 2. 施工概要

「平成25年度(4月改正) 国土交通省土木工事標準積算基準書 II-2-②-1 基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」を参照。

#### 3. 機種の選定

材料投入における機械・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種の選定

工 種 名		機 械 名	規 格	単 位	数 量
基 礎 碎 石 工		バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	台	1
裏 込 碎 石 工					
基 礎 栗 石 工	敷 均 し				
	敷 並 べ				
裏 込 栗 石 工	かき込み				

#### 4. 施工歩掛

##### 4-1 日当り編成人員

「平成25年度(4月改正) 国土交通省土木工事標準積算基準書 II-2-②-2 基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」を参照。

##### 4-2 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表2.2 日当り施工量 (1日当り)

工 種 名		単 位	数 量
基 礎 碎 石 工		m <sup>3</sup>	107
裏 込 碎 石 工		m <sup>3</sup>	26
基 礎 栗 石 工	敷 均 し	m <sup>2</sup>	111
	敷 並 べ	"	69
裏 込 栗 石 工	か き 込 み	m <sup>3</sup>	21
	築 立 て	"	7

(注) 1. 上表には、20m程度の小運搬を含む。

2. 基礎碎石工の敷均し厚は20cmまでを対象とし、それを超える場合は上表に0.7を乗じた数量を計上する。ただし、この場合の敷均し厚は30cmを上限とする。

3. 護岸工の裏込栗石工において、護岸平場は、基礎栗石工の歩掛とする。

4. 現場発生材を使用する場合は、小割・選別歩掛を別途計上する。

5. 基礎栗石工の敷均し及び敷並べ厚は、30cmまでを対象とする。

4-3 材料のロス率

「平成25年度(4月改正) 国土交通省土木工事標準積算基準書 II-2-②-2 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」を参照。

4-4 諸雑費

「平成25年度(4月改正) 国土交通省土木工事標準積算基準書 II-2-②-2 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」を参照。

5. 単価表

(1) 基礎砕石工 100 m<sup>2</sup>当り単価表

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.6×100/D	
特 殊 作 業 員		人	1.1×100/D	
普 通 作 業 員		人	2.9×100/D	
砕 石		m <sup>3</sup>	100×厚さ(m) ×(1+ロス率)	
バックホウ運転	クローラ型 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	1×100/D	表 2.1、表 2.2
諸 雑 費		式	1	

(注) D:日当り施工量

(2) 裏込砕石工 10m<sup>2</sup>当り単価表

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.7×10/D	
特 殊 作 業 員		人	1.3×10/D	
普 通 作 業 員		人	3.3×10/D	
砕 石		m <sup>3</sup>	10×(1+ロス率)	
バックホウ運転	クローラ型 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	1×10/D	表 2.1、表 2.2
諸 雑 費		式	1	

(注) D:日当り施工量

(3) 基礎栗石工(敷き均し、敷並べ) 100 m<sup>2</sup>当り単価表

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	M×100/D	
特 殊 作 業 員		人	M×100/D	
普 通 作 業 員		人	M×100/D	
栗 石 等		m <sup>3</sup>	100×厚さ(m) ×(1+ロス率)	
(間隙充填材料)		m <sup>3</sup>	(栗石使用量) ×0.2	
バックホウ運転	クローラ型 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型(第1次基準値)	日	1×100/D	表 2.1、表 2.2
諸 雑 費		式	1	

(注) 1. D:日当り施工量、M:人工数

2. 間隙充填材は「敷並べ」にのみ適用する。

(4) 裏込栗石工（かき込み）10m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	0.7×10/D	
特 殊 作 業 員		人	1.3×10/D	
普 通 作 業 員		人	3.3×10/D	
栗 石 等		m <sup>3</sup>	10×(1+ロス率)	
バックホウ運転	クローラ型 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型	日	1×10/D	表 2.1、表 2.2
諸 雑 費		式	1	

(注) D：日当り施工量

(5) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> )	機-28	(基礎砕石工) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→21 賃料数量→0.74  (裏込砕石工) 運転労務数量→0.90 燃料消費量→34 賃料数量→0.93  (基礎栗石工(敷均し)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 賃料数量→0.93  (基礎栗石工(敷並べ)) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→21 賃料数量→0.74  (裏込栗石工(かき込み)) 運転労務数量→0.90 燃料消費量→34 賃料数量→0.93

※上表の適用単価表番号は、平成 26 年度 国土交通省土木工事標準積算基準書「I-6-③機械運転単価表」による。

### 第3章 基盤整備

#### 1 舗装版取壊し（人力）

本市基準書「4-3-2-5 舗装版破碎工（人力）」を参照。

## 2 擁壁工

### 1 コンクリートブロック（空洞ブロック積）

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月） 2-2-1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積」を参照。

### 2 小型石積工

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月） 2-3 石積工」を参照。

#### 2-1 小型石積工

##### 1 雑石—練石積

###### 1. 施工歩掛

雑割石による練石積施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 雑石による練石積工歩掛表 (10 m<sup>2</sup>当り)

名 称	単 位	数 量		摘 要
		雑	石	
		控え 200 mm		
世 話 役	人	0.4		
石 工	人	0.9		
普通作業員	人	1.8		



2-2 れんが積工

1 れんが積

れんが積みは次表を標準とする。

表 2.2 れんが積 (1㎡当り)

れんが壁厚	名 称	形 状 規 格	単 位	数 量	摘 要
1/2 B (半枚積み) 壁厚 10cm	れ ん が	210×100×60	本	68	
	目地モルタル	1 : 2	m <sup>3</sup>	0.022	
	建築ブロック工		人	0.15	
	普通作業員		人	0.10	
1 B (1枚積み) 壁厚 21cm	れ ん が	210×100×60	本	136	
	目地モルタル	1 : 2	m <sup>3</sup>	0.055	
	建築ブロック工		人	0.27	
	普通作業員		人	0.16	
1 1/2 B (1.5枚積み) 壁厚 32cm	れ ん が	210×100×60	本	205	
	目地モルタル	1 : 2	m <sup>3</sup>	0.09	
	建築ブロック工		人	0.42	
	普通作業員		人	0.26	

(注) 1. れんが数量は、ロスによる加算済みである。

2. 上表は、耐火れんが積には適用しない。

3. 化粧積みの場合は、建築ブロック工片面 0.08 人/㎡、化粧目地モルタル 0.005 m<sup>3</sup>/壁㎡を加算する

## 第4章 植栽

### 1 公園植栽工

#### 1. 特殊樹木

##### 1-1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるフジ・ヤシ類等の特殊樹木の植栽作業に適用する。

##### 1-2 特殊樹木植栽歩掛

フジについては、「平成26年度 国土交通省土木工事標準積算基準書 V-1-①-1 公園植栽工」より、高木植栽歩掛を適用する。

なお、その他ヤシ類等の特殊樹木については別途考慮すること。

#### 2. 支柱工

##### 2-1 適用範囲

本資料は、公園工事における植栽作業に適用する。

##### 2-2 施工歩掛

支柱設置は、建込み・結束からなり、支柱形式別・支柱材料及び歩掛は次表とする。

表 4.1 支柱材料及び設置歩掛

名称	形状寸法	単位	100本当り							
			二脚島居 支 柱 (添木付)	二脚島居 支 柱 (添木なし)	三脚島居 支 柱 (添木なし)	十字島居 支 柱	四脚支柱 (A)	四脚支柱 (B)	三本支柱 (A)	三本支柱 (B)
土木一般世話役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	3.6	2	3.1
造園工		人	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	20.4	11.1	17.6
普通作業員		人	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	11.8	6.4	10.2
杉丸太	L0.6m×末口6.0cm	本	100	100	100					
杉丸太	L0.6m×末口7.5cm	本				200	200			
杉丸太	L0.75m×末口7.5cm	本					200	400		
杉丸太	L0.8m×末口6.0cm	本							300	300
杉丸太	L1.8m×末口6.0cm	本	200	200	300					
杉丸太	L1.8m×末口7.5cm	本				200				
杉丸太	L2.1m×末口7.5cm	本				200	400	400		
杉丸太	L3.0m×末口3.0cm	本	100							
杉丸太	L4.0m×末口6.0cm	本							300	
杉丸太	L6.3m×中口6.0cm	本								300
諸雑費		%	4	4	3	3	2	2	4	3

(注) 1. 諸雑費は杉皮(緑化テープ)、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費・材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2. 現場条件等により上表により難しい場合は別途考慮すること。

### 3. 地被類植栽工

#### 1. 適用範囲

本資料は、地被類の植付における地ごしらえ、植付け、目土かけ、小運搬等の一連の作業に適用する。

なお、施工歩掛については、「平成26年度 国土交通省土木工事標準積算基準書 V-1-①-5」を参照。

#### 2. 張芝

張芝の使用数量は次表を標準とする。

表 4.2 張芝材料使用数量

(100 m<sup>2</sup>当り)

品名	形状寸法	単位	高麗芝		野芝	摘要
			目地なし	目地巾4cm	目地巾6cm	
高麗芝	280×360mm 半土付き	m <sup>2</sup>	100	78	—	
野芝	280×360mm 半土付き	m <sup>2</sup>	—	—	70	
目土	良質土	m <sup>3</sup>	2.7	2.7	2.7	

#### 4. 樹名板工

##### 1. 適用範囲

本資料は、樹名板取付作業に適用する。

##### 2. 樹名板取付

樹名板取付の歩掛は次表とする。

表 4.3 樹名板取付歩掛

(100枚当り)

名 称	形 状 規 格	単 位	数 量		摘 要
			高 木	低 木	
埋込型樹名板	ポリエチレン2層成型品	枚	—	100	
幹巻型樹名板	ポリエチレン2層成型品	枚	100	—	
普通作業員		人	0.21	0.42	
諸 雑 費		式	1	1	

## 2 公園移植工

<参考> 移植樹木運搬歩掛

移植樹木運搬歩掛

(100本当り)

	中・低木 (H= cm)				高木 (C= cm)				
	50未満	50~100	100~ 200	200~ 300	15未満	15~25 未満	25~40 未満	40~60 未満	60~90 未満
積載本数	110本	50本	45本	45本	20本	13.3本	7.7本	2.5本	1.0本
運搬機械	トラック (クレーン装置付) 4t級 吊能力 2.9t								
5km以下	6.6h	9.4h	11.7h	15.0h	21.3h	29.4h	8.7h	20.5h	49.0h
10km以下	7.1h	10.4h	12.8h	16.1h	23.7h	33.2h	17.4h	41.0h	98.0h
15km以下	7.6h	11.4h	13.9h	17.2h	26.1h	37.0h	26.1h	61.5h	147.0h
20km以下	8.1h	12.4h	15.0h	18.3h	28.5h	40.8h	34.8h	82.0h	196.0h
25km以下	8.6h	13.4h	16.1h	19.4h	30.9h	44.6h	43.5h	102.5h	245.0h
30km以下	9.1h	14.4h	17.2h	20.5h	33.3h	48.4h	52.2h	123.0h	294.0h
35km以下	9.6h	15.4h	18.3h	21.6h	35.7h	52.2h	60.9h	143.5h	343.0h
(注)	5kmを越え5km増す毎に加算する運搬時間 (h)								
	0.5h	1.0h	1.1h	1.1h	2.4h	3.8h	8.7h	20.5h	49.0h

(注) 1. 掘取歩掛の中には100m程度の小運搬を含むとあるため本歩掛では200mを超える場合に適用する。

2. 中・低木と高木の25cm未満については、積込み、取卸し手間を含む。

3. 高木の25cm~90cm未満については、掘取手間に積込み・取卸し手間を含む。

### 3 樹木保全工

#### 1. 適用範囲

本資料は、樹木維持管理作業の樹木保全工に適用する。

#### 2. 樹木調査工

##### 2-1 巡視点検

巡視点検の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.4 巡視点検歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック (1.5l)	h	4.7	
造 園 工	人	1.00	
諸 雑 費	式	1	

##### 2-2 樹勢調査

樹勢調査の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.5 樹勢調査工 (100本当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
造 園 工	人	3.33	
諸 雑 費	式	1	

#### 3. 灌水

##### 3-1 灌水設備点検

灌水設備点検の施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.6 灌水設備点検歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック (1.5 t)	h	4.7	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

#### 4. 施肥

##### 4-1 施肥 (パイル肥料)

パイル肥料の施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.7 パイル肥料歩掛 (100本当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
パイル肥料	N:P:K=17:10:10 $\varnothing=300\text{m/m}$ $\phi 300\text{m/m}$	本	100	
造 園 工		人	0.45	
普 通 作 業 員		人	0.14	
諸 雑 費		式	1	

#### 5. 捕獲駆除工

##### 5-1 巣網剪除

巣網剪除の施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.8 巣網剪除歩掛 (1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック (2 t)	h	4.7	
造 園 工	人	1	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

## 4 環境保全工

### 1. 適用範囲

本資料は、樹木維持管理作業の環境保全工に適用する。

### 2. 障害樹処理

障害樹処理の施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.9 障害樹処理歩掛

(1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(2t)	h	4.7	
造 園 工	人	1	
普 通 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

### 3. 落葉除去

落葉除去(人力)の施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.10 落葉除去(人力)歩掛

(1日当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
普通トラック(2t)	h	4.7	
普 通 作 業 員	人	1	
軽 作 業 員	人	1	
諸 雑 費	式	1	

## 第5章 施設整備

### 1 給水設備工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における給水設備工に適用する。

#### 2. 施工歩掛

##### 2-1 水栓類取付

水栓類取付の歩掛は次表を標準とする。

表 5.1 水栓類取付歩掛 (1個当り)

名 称	単 位	口 径			摘 要
		13	20	25	
各 種 水 栓	個	1.0			
配 管 工	人	0.07	0.08	0.09	
散水栓 (ボックス共)	個	1.0			
配 管 工	人	0.35	0.35	0.35	

(注) 散水栓はボックス取付歩掛を含む。

##### 2-2 止水栓設置

止水栓の設置、ボックスの据付、据直しの設置歩掛は、次表を標準とする。

表 5.2 止水栓設置

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	25 mm		40・50 mm		摘 要
			標準	継足し	標準	継足し	
世 話 役		人	0.07	0.07	0.07	0.07	
配 管 工		人	0.07	0.07	0.07	0.07	
止 水 栓	25 mm	個	1	1	—	—	
止 水 栓	40 mm又は50 mm	個	—	—	1	1	
止水栓ボックス	125	個	1	1	—	—	
止水栓ボックス	125 継足用	個	—	1	—	—	
止水栓ボックス	150	個	—	—	1	1	
止水栓ボックス	150 継足用	個	—	—	—	1	
配管継手工		箇所	2	2	2	2	
諸 雑 費 率		%	1	1	1	1	労務費の合計
計							

表 5.3 ビニル管継手工

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	25 mm	40 mm	50 mm	75 mm	摘 要
配 管 工		人	0.02	0.03	0.04	0.04	
普通作業員		人	0.02	0.03	0.04	0.04	
諸 雑 費 率		%	2	2	2	2	労務費の合計
計							



2-3 排水金具取付

排水目皿の取付歩掛は次表を標準とする。

表 5.4 排水目皿取付歩掛 (1個当たり)

名 称	単 位	口 径			
		40	50	65	75 (80)
排 水 目 皿	個	1	1	1	1
配 管 工	人	0.20	0.23	0.26	0.29

## 2 雨水排水設備工

### 2-1 排水構造物工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における排水構造物工に適用する。

#### 2. 集水樹

集水樹は、次表を標準とする。

表 5.5 集水樹

(10 基当り)

名 称	規 格	単 位	集水樹 H=800		集水樹 H=950		集水樹 H=1150	
			(F)	(I)	(E)	(H)	(D)	(G)
世 話 役		人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4
特 殊 作 業 員		人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
普 通 作 業 員		人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	0.6
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型クレーン 機能付山積0.45㎡(平 積0.35㎡) 2.9t 吊	h	2.6	2.6	2.6	2.6	3.6	3.6
基 礎 砕 石 費 率		%	18					
樹 本 体	570×570×670	基	10	10	10	10	10	10
樹 継 ぎ 足 し (H=140)	570×570×140	基	—	—	10	10	—	—
樹 継 ぎ 足 し (H=340)	570×570×340	基	—	—	—	—	10	10
集 水 樹 蓋	集水樹蓋 (D~I 型用)	組	10	10	10	10	10	10
モ ル タ ル	1:2	m <sup>3</sup>	0.06	0.01	0.07	0.02	0.07	0.02
諸 雑 費		式	1					

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離 30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処分は含まない。  
 2. 上表歩掛は、蓋版の有無に関わらず適用できる。  
 3. 基礎砕石費は、労務費及びバックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。  
 なお、基礎砕石費に含まれる内容は次のとおりである。  
 [基礎砕石費] 敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費  
 4. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途計上する。  
 5. 基礎砕石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。  
 6. 撤去歩掛は据付歩掛(基礎砕石費率は除く)の50%とする。

#### <参考 集水樹重量>

名 称	形状寸法	備 考
集水樹蓋 (D~I 型用)	650×560×200 mm	96 kg
集水樹蓋	500×400×31 mm	15 kg
集水樹蓋 (三方枠) (取替(1)用)	730×540×140 mm	79 kg
集水樹蓋 (四方枠) (A~C型・取替(2)用)	730×640×140 mm	120 kg
集水樹本体 (D~I 型用)	570×570×670 mm	245 kg
集水樹継足し (D・G型用)	570×570×340 mm	101 kg
集水樹継足し (E・H型用)	570×570×140 mm	43 kg

## 2. 側溝工

### 1. 外周側溝

外周側溝の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.6 外周側溝 (100m当り)

名 称	単 位	側 溝		摘 要
		巾 180	巾 240	
モルタル (1 : 3)	m <sup>3</sup>	0.54	0.72	厚 30 mm
左 官 工	人	0.86	1.15	
普 通 作 業 員	人	0.11	0.14	
諸 雑 費	式	1	1	

## 2-2 管渠工

### 1. 公園管渠

「公園緑地工事標準歩掛 (平成 26 年 4 月) 2-4 管渠工」を参照する。

## 2-3 マンホール工

### 1. マンホール工

「公園緑地工事標準歩掛 (平成 26 年 4 月) 2-5 集水柵・マンホール工」を参照する。

### 3 汚水排水設備工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における汚水排水構造物工に適用する。

#### 2. 汚水枳・マンホール工

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月） 3 汚水排水設備工」を参照する。

#### 3. インバート上塗り

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月） 3-2-1 インバート上塗り」を参照する。

## 4 園路広場整備工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における園路広場整備工に適用する。

### 4-1 路盤工

本市基準書「4-1-1-1 路盤工」を参照する。

### 4-2 土系舗装工

「公園緑地工事標準歩掛（平成26年4月）4-3 土系舗装工」を参照する。

### 4-3 石材系舗装工

「公園緑地工事標準歩掛（平成26年4月）4-5 石材系舗装工」を参照する。

## 4-4 レンガ・タイル系園路工

### 1. タイル舗装

#### (1) 施工歩掛

タイル舗装は次表を標準とする。

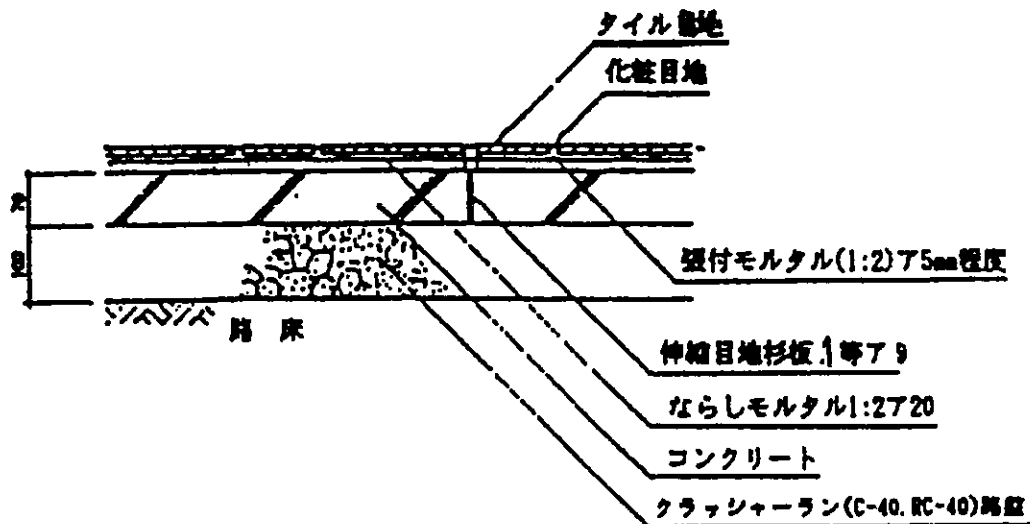
表 5.7 タイル舗装

(100㎡当り)

名 称	規 格・形 状	単 位	数 量		摘 要
			100角平 (目地巾 8mm)	150角平 (目地巾 10mm)	
路 床 工		㎡	100	100	
路 盤 工		㎡	100	100	
タ イ ル 工		人	25	18	タイル張り
普 通 作 業 員		人	9	9	手伝い、小運搬
タ イ ル		枚	10,600	4,050	
コ ン ク リ ー ト	18-8-25 t=70mm	㎥	7.0	7.0	
型 枠		㎡	1.4	1.4	
下地モルタル塗	1:3 t=20mm	㎡	100	100	
目地モルタル	1:2	㎡	0.22	0.20	
伸 縮 目 地	杉板1等 t=9mm	m	66.6	66.6	⑤5.0m
諸 雑 費		式	1	1	

- (注) 1. 運搬距離 20m程度の人力による小運搬を含む。  
 2. タイル材料の端部等の役物については、別途考慮する。  
 3. タイルの数量はロス率+0.06の分を含む。

(参考図)



## 4-5 園路縁石工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるプレキャスト製品及び加工された自然石の縁石の据付に適用する。

なお、施工概要、機種の選定、日当たり編成人員、日当たり施工量、諸雑費は「平成25年度(4月改正) 国土交通省土木工事標準積算基準書 IV-2-④路側工」を参照する。

### 2. 石材縁石

「公園緑地工事標準歩掛(平成26年4月) 4-6-2 石材縁石」を参照する。

### 3. 単価表

コンクリート縁石(A)単価表

(100m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ブ ロ ッ ク		個		
世 話 役		人		1×100/65
ブ ロ ッ ク 工		人		2×100/65
普 通 作 業 員		人		2×100/65
諸 雑 費		式	1	

コンクリート縁石(B)(C)

(100m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ブ ロ ッ ク		個		
世 話 役		人		1×100/60
ブ ロ ッ ク 工		人		2×100/60
普 通 作 業 員		人		2×100/60
諸 雑 費		式	1	

コンクリート縁石(A-R)(D)(F)、切下げ縁石、フェンス用縁石、擬石縁石、洗出縁石

(100m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ブ ロ ッ ク		個		
世 話 役		人		1×100/70
ブ ロ ッ ク 工		人		2×100/70
普 通 作 業 員		人		2×100/70
諸 雑 費		式	1	

(参考) コンクリート縁石重量

名 称	形状寸法 (cm)	1本当り重量 (kg)	備考
コンクリート縁石 (A)	12/15×20×100	63.4	
" (A-R)	12/15×20×60	38.0	
" (B)	18/20.5×25×60	66.0	
" (C)	18/21×30×60	81.0	
" (D)	12×12×60	20.0	
" (F)	10/11×15×60	22.2	
切下げ縁石	4/18×10×60	23.0	
フェンス用縁石	15/17×20×60	44.0	
擬石縁石 (D)	12×12×60	21.0	
" (F)	10/11×15×60	22.2	
" (切下げ)	4/18×10×60	23.0	
洗出縁石 (D)	12×12×60	21.0	
" (F)	10/11×15×60	22.2	
" (切下げ)	4/18×10×60	23.0	



## 5 修景施設整備工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における修景施設整備工に適用する。

### 2. 石組工

「公園緑地工事標準歩掛（平成26年4月）5-2 石組工」を参照する。

## 6 遊戯施設整備工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における鋼製遊具据付に適用する。

### 2. 遊具組立設置工

#### 2-1 鋼製遊具据付施工歩掛

鋼製遊具の据付歩掛は次表を標準とする。

表 5.8 鋼製遊具据付歩掛 (1基当り)

名 称	形 状 寸 法	歩 掛 (人)	
		特殊作業員	普通作業員
大型 2 連ブランコ	高 2.5m 幅 3.0m 安全柵高 0.6m付	0.34	1.02
大型 4 連ブランコ	" 幅 6.0m	0.52	1.56
一 方 式 滑 台	高 2.0m 滑面 18cm×40cm×4.0m	0.27	0.81
2 連 低 鉄 棒	高 0.9m・1.2m 幅 1.8×2 連	0.06	0.18
3 連 低 鉄 棒	高 0.9・1.0・1.1m 幅 1.8m×3 連	0.10	0.30
3 連 中 鉄 棒	高 1.1・1.3・1.5m	0.11	0.33
太 鼓 型 ラ ダ ー	高 1.5m 幅 1.28m 長 3.2m	0.10	0.30
山 型 ラ ダ ー	高 1.615~2.1~1.615m 幅 0.6m 長 5.5m	0.25	0.75

- (備考) 1. 本表歩掛は、据付歩掛で組立は含まない。  
 2. 小運搬は距離 20m程度とする。  
 3. 形状寸法は標準の寸法であるため、これにより難い場合は別途考慮する。

### 3. 砂 場

#### 3-1 砂場の砂均し歩掛

砂場における砂の敷均しの作業歩掛は、下表とする。

表 5.9 砂敷均し歩掛 (10m<sup>2</sup>当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
洗 砂	5mm 以下	m <sup>3</sup>	10.0	
普通作業員		人	0.5	
諸 雑 費		式	1	

## 7. サービス施設工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるベンチ・スツール据付に適用する。

### 2. ベンチ・スツール

「平成 26 年度 国土交通省土木工事標準積算基準書 V-1-③-7 小型工作物工」を参照する。

### 3. 重量

(参考) ベンチ・スツール重量

名 称	1 基当たり重量
丸太ベンチ (A)	38.2 kg/基
丸太ベンチ (B)	66.3 kg/基
背付きベンチ	34.0 kg/基
ス ツ ー ル	31.9 kg/基

## 8 管理施設整備工

### 8-1 門扉工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における門扉工に適用する。  
 なお、門扉構造が特殊なものについては、別途考慮する。

#### 2. 金網柵門扉

(1) 金網柵門扉の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 8.1 門扉設置歩掛

(1枚当り)

名 称	規 格	単 位	張高 (mm)		摘 要
			900~1,500	1,800~2,000	
特 殊 作 業 員		人	0.05	0.06	
普 通 作 業 員		人	0.05	0.06	

(注) 門扉は、扉幅 900~1,500 mm程度とし、両開きの場合は5割増とする。

(2) 単価表

門扉設置単価表

(1枚当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
門 扉		枚		
特 殊 作 業 員		人		表 7.1
普 通 作 業 員		人		表 7.1
諸 雑 費		式	1	
計				

## 8-2 柵工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるフェンス設置に適用する。

### 2. フェンス設置

#### (1) フェンス設置

公園整備において高さ2m以下、支柱間隔2.5mの人力建込による柵工のフェンス設置は「平成24年度(4月版)国土交通省土木工事標準積算基準書 IV-2-① 立入り防止柵工」を参照する。

それ以外のフェンス(金網柵)の設置歩掛は次表を標準とする。

なお、4mを超えるもの、次表によりがたいものについては別途考慮する。

表 8.2 フェンス(金網柵)設置歩掛

張高mm	職種	工種	胴縁取付	支柱建込	金網張立	摘要 クレーンh/本
			人/m	人/本	人/m	
h=2,000	特殊作業員		0.05	—	0.101	
	普通作業員		0.03	0.08	0.084	
h=3,500	特殊作業員		0.08	—	0.15	
	普通作業員		0.04	0.12	0.13	

1. 地上高2,000以上は必要に応じて別途足場損料を計上することができる。

### <参考>

#### 基礎ブロック重量

基礎ブロック重量

品名	形状寸法(mm)	重量(kg/個)	摘要
基礎ブロック	180×180×450	26.0	基礎ブロック(A)・フェンス(砂場用)フェンス(A)(B)
	200×200×450	30.0	基礎ブロック(B)
	250×250×450	45.0	基礎ブロック(C)フェンス(C)(D)
	300×300×300	26.0	スツール(丸太製)
	300×300×500	43.0	基礎ブロック(D)フェンス(E)(F)
	300×300×600	90.0	基礎ブロック(E)・砂場用扉(A)フェンス(忍び返し付)(C)
	300×300×700	105.0	フェンス(H)・フェンス(忍び返し付)(D)
	350×350×300	44.0	車止め(F)・(I)
	400×400×600	176.0	砂場用扉(B)
	180×550×450	79.0	基礎ブロック(AW)
200×600×450	93.0	基礎ブロック(BW)	

## 8-3 車止め工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における車止め工に適用する。

なお、特殊な機能を有するものについては、別途考慮するものとする。

### 2. 車止め

本市基準書「4-2-1-7 車止めポスト設置工」を参照する。

## 9 施設仕上げ工

### 9-1 塗装仕上げ

#### 1. 適用範囲

本歩掛は、公園工事における施設の塗装仕上げに適用する。

#### 2. 素地ごしらえ

素地ごしらえの施工歩掛は、次表を標準とする。(一般塗)

表 9.1 素地ごしらえ施工歩掛 (1㎡当り)

種 別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
一 般 木 部 面	研磨紙	P120~P220	枚	0.07	
	塗装工		人	0.005	
鉄 面	研磨紙	P120~P220	枚	0.25	
	塗装工		人	0.015	
亜鉛メッキ面	エッチングプライマー	JISK5633の1種	kg	0.05	
	塗装工		人	0.019	
コンクリート面	建築用下地調整塗材	JISA6916	kg	1.5	
	左官工		人	0.020	

#### 3. 合成樹脂調合ペイント塗り

合成樹脂調合ペイント塗りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.2 合成樹脂調合ペイント塗り (S.O.P塗り) 施工歩掛 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	木 部	鉄 部	亜鉛メッキ面
木部下塗り用ペイント	JASS 18M-304	kg	0.10	—	—
さび止めペイント	JIS K 5625 の2種	kg	—	0.24	—
さび止めペイント	JIS K 5629	Kg	—	—	0.12
合成樹脂調合ペイント	JIS K 5516 の1種	Kg	0.19	0.20	0.20
研 磨 紙	P120~P220	枚	0.07	—	0.14
塗 装 工		人	0.051	0.068	0.053

(注) 標準塗装回数

木 部 3回塗 (下塗、中塗、上塗、各1回)

鉄 部 4回塗 (さび止め2回、中塗、上塗、各1回)

亜鉛メッキ面 3回塗 (さび止め1回、中塗、上塗、各1回)

#### 4. オイルステインワニス塗り

オイルステインワニス塗りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.3 オイルステインワニス塗り (O.S.C塗) 施工歩掛 (1㎡当り)

名 称	摘 要	単 位	数 量	適 要
オイルステイン		kg	0.05	
フタル酸樹脂ワニス	JIS K 5562	Kg	0.06	
セラックニス	JIS K 5431 の1種	Kg	0.05	
塗 装 工		人	0.058	

(注) 1. 素地ごしらえは、別途計上する。

2. 木部2回塗り (着色2回)

## 5. 素地調整

素地調整の施工歩掛は、次表を標準とする。(既設物塗)

表 9.4 素地調整歩掛 (10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			塗 装 工	普通作業員	
鉄 部	第3種ケレン	人	0.30	—	
	第4種ケレン	人	0.20	—	
木 部 コンクリート部 吹 付	清掃	人	—	0.15	

- (注) 1. 鉄部は旧塗膜の状態により、第3種又は第4種を使用する。  
 2. 旧塗膜の状況により第2種又は第1種が必要な場合、別途計上すること。  
 3. 素地調整の基準は、次を標準とする。  
 第3種ケレン：グラインダー等により不良部分について、旧塗膜、さび等を除き地肌を出す。  
 第4種ケレン：ワイヤーブラシ等により粉化物、汚れ等を落とす。  
 清 掃：粉化物、汚れ除去

## 6. 単価表

(1) 素地ごしらえ(〇〇〇面)単価表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料	各種	Kg・枚		表 8.1
塗 装 工 又 は 左 官 工		人		表 8.1
諸 雑 費		式	1	
計				

(2) 素地調整(〇〇〇面)単価表 (10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
塗 装 工		人		表 8.4
普 通 作 業 員		人		表 8.4
諸 雑 費		式	1	
計				

(3) 合成樹脂調合ペイント塗り(〇〇〇面)単価表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料	各種塗料・研磨紙	Kg・枚		表 8.2
材 料	合成樹脂調合ペイント	Kg		表 8.2
塗 装 工		人		表 8.2
諸 雑 費		式	1	
計				

(4) オイルステインワニス塗り単価表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
材 料		Kg		表 8.3
塗 装 工		人		表 8.3
諸 雑 費		式	1	
計				



## 9-2 加工仕上げ工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における加工仕上げ工に適用する。

### 2. コンクリート加工仕上げ

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）8-2-1 加工仕上げ工」を参照する。

### 9-3 左官仕上げ工

#### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事における左官仕上げ工に適用する。

#### 2. モルタル練工

「平成25年度(4月改正)国土交通省土木工事標準積算基準書 II-4-①-6 モルタル練工」を参照する。

#### 3. 色モルタル仕上げ

##### (1) 施工歩掛

色モルタル仕上げの施工歩掛は、次表を標準とする。

表9.5 色モルタル金こて仕上げ (10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
下塗モルタル	1:2	m <sup>3</sup>	0.08	8mm
中塗モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.05	5mm
白セメント		kg	50.4	7mm(1:2)
白砂		kg	115.7	
顔料		Kg	2.35	4.67%
左官工		人	1.5	
普通作業員		人	0.18	
諸雑費		式	1	

(注) モルタル塗りには、左官工具、混和材、目地棒、定規等の補助材を含む。

#### 4. タイル下地モルタル塗り

##### (1) 床タイル張下地モルタル

表9.6 床タイル下地モルタル塗り(塗厚22mm) (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg	11.0	
砂		m <sup>3</sup>	0.027	
左官工		人	0.04	
普通作業員		人	0.026	
諸雑費		式	1	

(注) モルタル塗りには、左官工具、混和材、目地棒、定規等の補助材を含む。

##### (2) 壁タイル張りの下地モルタル

表9.7 壁タイル下地モルタル塗り (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	モザイクタイル下地 20mm	外装タイル下地 16mm	摘 要
セメント		kg	10.9	9.5	
砂		m <sup>3</sup>	0.026	0.022	
左官工		人	0.09	0.070	
普通作業員		人	0.032	0.027	
諸雑費		式	1	1	

(注) 1. 木こて仕上げとする。

2. モルタル塗りには、左官工具、混和材、目地棒、定規等の補助材を含む。

**5. 化粧目地切**

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）8-3-1 化粧目地切」を参照する。

**6. コンクリート仕上げ**

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）8-3-3 コンクリート仕上げ」を参照する。

**7. モルタル仕上げ**

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）8-3-4 モルタル仕上げ」を参照する。

**8. 人造石仕上げ**

「公園緑地工事標準歩掛（平成 26 年 4 月）8-3-5 人造石仕上げ」を参照する。

## 9-4 タイル仕上げ工

### 1. 適用範囲

本資料は、公園工事におけるタイル仕上げ工に適用する。

### 2. 床タイル張り

#### (1) 施工歩掛

- ① 床タイル張の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.8 床タイル（一般床タイル張り） (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			100mm 角	150mm 角	
タ イ ル		枚	102	45	
セ メ ン ト		kg	3.0	2.6	
細 骨 材	細目	㎥	0.004	0.004	
下 地 モ ル タ ル 塗	床	㎡	1.0	1.0	
タ イ ル 工		人	0.22	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.09	0.09	
諸 雑 費		式	1	1	

(注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。

2. タイル洗手間間は労務歩掛に含む。

- ② 床タイル（ユニットタイル張り）の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.9 床タイル（ユニットタイル張り） (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
			100mm 角	
床 ユ ニ ッ ト タ イ ル		シート	11.5	
セ メ ン ト		kg	3.0	
細 骨 材	細目	㎥	0.004	
下 地 モ ル タ ル 塗	床	㎡	1.0	
タ イ ル 工		人	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.07	
諸 雑 費		式	1	

(注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。

2. タイル洗手間間は労務歩掛に含む。

3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。

4. 床ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。

- ③ 床モザイクタイル（ユニット）張りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.10 床モザイクタイル（ユニットタイル張り） (1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要
			25mm 角	50mm 角	
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	
セ メ ン ト		kg	3.5	2.7	
細 骨 材	砂	㎥	0.004	0.004	
下 地 モ ル タ ル 塗	床	㎡	1.0	1.0	
タ イ ル 工		人	0.19	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.07	0.07	
諸 雑 費		式	1	1	

(注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。

2. タイル洗手間間は労務歩掛に含む。

3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。

4. 床モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。

④ 床クリンカータイル張りの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 9.11 床クリンカータイル張り

(1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			摘 要
			120mm 角	152mm 角	180mm 角	
クリンカータイル	せつ器質	枚	63	39	28	
セメント		kg	5.5	5.8	6.1	
細骨材	細目	m <sup>3</sup>	0.002	0.002	0.003	
タイル工		人	0.19	0.18	0.17	
普通作業員		人	0.10	0.10	0.10	
諸雑費		式	1	1	1	

- (注) 1. 張付けモルタルに混入する保水材を含む。  
 2. タイル洗い手間は労務歩掛に含む。  
 3. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 4. タイル下地モルタルを含む。

